

# ヘウレーカ!

なるほど、そうか

第49回

## USGAはベストティーを推奨

— 米国ゴルファー2万人が答えた最適なティーの選び方 —

喜田任紀



### ゴルフを楽しもう

USGAは競技ゴルフだけでなく、もっと多くの人がゴルフを楽しむべきだと言っています。そして、「ゴルフはいいよ」というだけでなく、どうすればゴルフを「楽しめる」かの提案もしています。その提案の一つが「ベストティー」システムです。今号も引き続き「ティー」の話題です。

日本もゴルファーを増やしたい、もっとゴルフを楽しもう、そしてゴルフはいいよと言ってもらうためには、USGAのいう業界が取り組むべき啓蒙活動の重要性に、ヘウレーカと言ってもらえるかな。

### 全てはゴルファーの満足度向上のため

以前、USGAの2万人のゴルファーを対象にしたアンケート調査を紹介しました。また、日本でも実施されましたがR&AとUSGAの共同でコース距離についての調査「Distance Insights Report」が2020年に行われました。USGAの提唱する「ベストティー」もこうした調査の結果を反映したものです。目的は、どうすればゴルファーが楽しいゴルフ体験をできるかなです。

「ベストティーシステム」は、ゴルファーが自分に最適なティー（ティーオフをする位置）を選ぶための方法です。解説記事 Helping Golfers Choose Their “Best



「Best」を読んでいたくとして、USGAは競技ゴルフにも熱心に取り組んでいます。ゴルフの9割を占める非競技の、楽しさを目的とするカジュアルゴルファー（レクリエーションゴルファーとも表現されます）が、ゴルフ本来の楽しみを体験してもらってゴルフを楽しんでもらいたい、始めようといっています。ベストティーでUSGAがしていることをまとめると、

1. ゴルフは「楽しむべき」ゲーム  
・ゴルフが難しすぎでは楽しくない

・無理なティーからプレーすることで、スコアが崩れる、進行が遅れる、自信を失うといった悪循環に陥る

・ベストティーからプレーすれば



Best Tees for Golfers

<https://www.usga.org/content/dam/usga/images/course-care/GolferExperience/AGA-16Mar23.pdf>

ば、成功体験が増え、もっとゴルフが好きになる

## 2. プレーフアスト（スムーズな進行）

- ・適正な距離からプレーすることでラウンド時間が短くなる
- ・スロープレーによるストレスが減り、全体の満足度が向上
- ・USGAは「時間的な負担がゴルフ人口減少の一因」と考えている

## 3. スコアだけでなく、戦略性

- ・設計意図を味わってほしい
- ・適正距離なら、コース設計者が意図したリスクとリスク回避の仕掛けを正しく体験できる

- ・「ドライバー↓アイアン↓2パット」という、本来のホール攻略の流れを味わえる

## 4. 多様なゴルフファアを歓迎するゴルフ団体や業界の姿勢

- ・年齢、性別、飛距離に関係なく、すべての人にゴルフの楽しさを提供したい

- ・ベストティーの導入は、ゴルフの多様性、包摂性（インクルーシブ）を高める

## 5. 上達にもつながる

- ・成功体験を積みやすくなることで、技術の向上意欲も保ちやすい

- ・スコア管理やパーオン率も上がることで、プレーの質が見える化される

お分かりのように、上級者の意見を代表するのではなく（上から目線の発信ではない）ゴルフファアのニーズやウォンツを具体的に実現しようということなのです。そもそも、パーオンしないゴルフは楽しいですか？ 上級者だけの特権ではありませんよ、といっているのです。

9割のカジュアルゴルフファアが何を求めているかは、2万人アンケートの結果とコース距離調査レポートなどの各種報告で説明されています。データとしてまとめられたレポートがBest Tees for Golfersです。

以下に、どのような内容なのかを紹介します。

## 何がゴルフ楽しくするのか

コース設計者の人と話して見て、果たして設計者の意図をゴ

ルフアアは理解できているのかという話題になります。ゴルフファアは体感したいと思っっているはずなんです。この質問「ティーの選択でコース設計戦略を体験することは重要ですか」への回答は、76%のゴルフファアが重要と答えています。著名なコース設計者コースでなくても、ラウンドする時には、設計者の意図を妄想しながらプレーすると楽しいはずですよ。

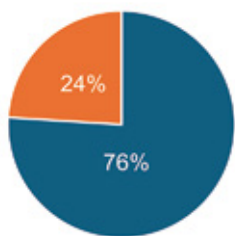
次は、キャディバッグに（多分）入っている14本のクラブを使ってラウンドしているだろうか。この質問は「様々なクラブを使用してバランスよくプレー

することは重要ですか」です。

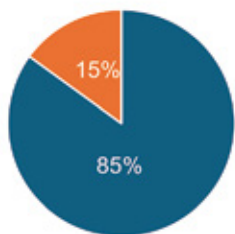
回答は、85%のゴルフファアが重要と答えています。コース設計者は当然のように多様なクラブ選択を想定しています。リスクとリスク回避の意図を知ることとはゴルフの楽しみの一つです。プロゴルフのレッスンでも必ず組まれているプログラムです。横に出すという選択はプレーマネジメントでは不可欠の要素です。

さて本題であるティーの選択についての質問である「自分の能力に対して長すぎるティーを選択することは一般的なことで

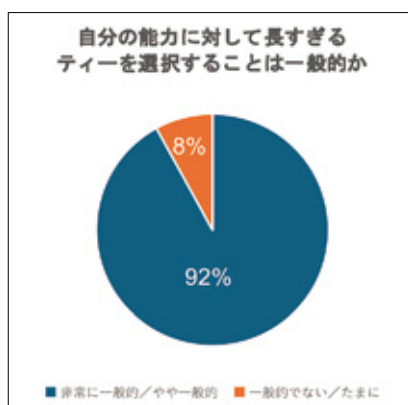
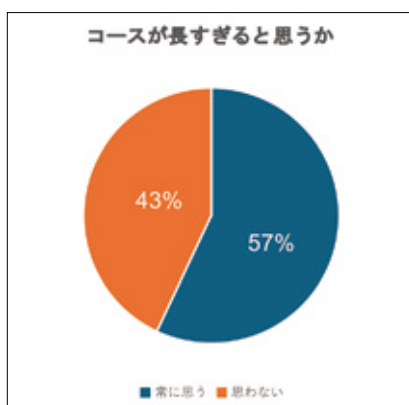
ティーの選択でコースの設計戦略を体験することは重要か



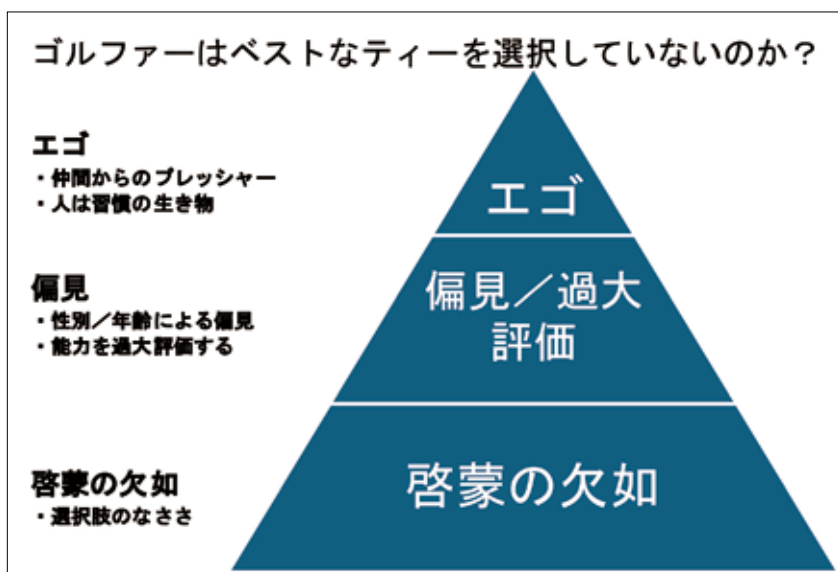
さまざまなクラブを使用してバランスよくプレーすることは



無理なティーの選択を一般的にしていると考えています。  
関連して、「コースが長すぎると思いませんか」という質問には、57%が長いと思うと答えています。この質問はプレーに時間がかかるかという質問に通じ



ます。  
右図は、なぜ分かっていて自分にあつたティーを選択してないかの理由をまとめたピラミッドです。その理由は日本人にも共通するのではないのでしょうか。



地を通してフォワードティーを選択できないジェントルマンは決して少なくないと指摘されています。  
しかし、図でも分かるようにUSGAは業界の啓蒙活動の欠如を最大の課題だと見ています。

まず本人のエゴが挙げられました。といって、仲間からのプレッシャーやゴルフを始めて以降の習慣というか、そういう雰囲気の中でプレーしている。次は偏見のようです。性別や年齢があがつていますが、男だからといった偏見や若くないねといった突っ込みがあたりでもあるようです。  
Teet It Forward!も俺は男だと思

1. ティー選択の現状と問題  
・多くのゴルファーが自分の実力に対して「長すぎるティー」を選んでいる  
・PGAやLPGAのプロの9割以上が「この問題は非常に一般的」と指摘している  
・ゴルフ本人も、自分が適

結果、ティーの選択肢がないということにつながっていると分析しています。  
**業界は何をすべきか**  
USGAのすごいところは、課題の抽出だけにとどまらないところです。普通の産業であれば、課題抽出↓対策・立案↓実行となります。結局は競技団体の殻を超えられるかどうかなのでしょう。マーケティングの発想をUSGAは持ったということです。R & Aも同じです。  
USGAはどのような提案をしているのか。ベストティーステムという仕組みを考えた。ベストティーのコンセプトはこうです。繰り返しになる部分もありますが、



## 推奨されるモデルによる：4951ヤードのコースでの平均的な女性ゴルフアー（フロントティー）の事例

| Hole | Par | ホール距離 | ホール距離評価  | 使用クラブ     |
|------|-----|-------|----------|-----------|
| 1    | 4   | 265   | Longer   | 5I / H    |
| 2    | 4   | 284   | Longer   | Fairway W |
| 3    | 3   | 129   | Longer   | 4I / H    |
| 4    | 5   | 405   | Too Long | 6I以上      |
| 5    | 4   | 293   | Longer   | Fairway W |
| 6    | 4   | 248   | Middle   | 6I        |
| 7    | 3   | 131   | Longer   | Fairway W |
| 8    | 4   | 290   | Longer   | Fairway W |
| 9    | 5   | 401   | Too Long | 6I以上      |
| Out  | 36  | 2446  |          |           |

| Hole  | Par | ホール距離 | ホール距離評価  | 使用クラブ     |
|-------|-----|-------|----------|-----------|
| 10    | 4   | 286   | Longer   | Fairway W |
| 11    | 4   | 270   | Longer   | 5I / H    |
| 12    | 3   | 120   | Longer   | 5I / H    |
| 13    | 5   | 435   | Too Long | 6I以上      |
| 14    | 4   | 277   | Longer   | 4I / H    |
| 15    | 4   | 300   | Too Long | 3W以上      |
| 16    | 3   | 125   | Longer   | 4I / H    |
| 17    | 5   | 428   | Too Long | 6I以上      |
| 18    | 4   | 265   | Longer   | 5I / H    |
| In    | 36  | 2505  |          |           |
| Total | 72  | 4951  |          |           |

切なティーを選べていないと自覚している

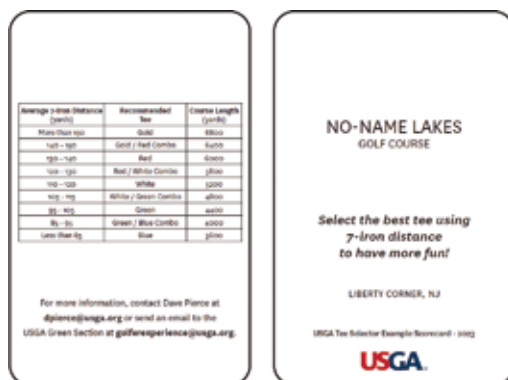
2. 「ベストティー」システムの提案内容とは

- ・ゴルフアーの7番アイアンの飛距離を基準に、最適なコース（ホール）全長を提案する
- ・パー3〜5のホールごとの理想的なアプローチ距離をもとに、楽しさと戦略性のバランスを考慮する
- ・このシステムは、カスタマイズ可能で、コースごとに適用できる柔軟なモデル

—— まず理解を深めるために平均的な女性をモデルに18ホールのティーをチェックすると上表のような分析

ができます。長すぎるホールが5ホールもあります。少なくとも、ティーグラウンドに立った時点でパーオンは望み薄です。

女性を想定してありますが、高齢者や初心者と置き換えても理解されると思います。これではゴルフは楽しくありません。体力のない人や下手なゴルフアーは不利を甘受すべきでしょうか？ ハンディキャップでカバーできるのであればUSGAはなぜ問題にするのでしょうか？ 日本のゴルフ関係者にも考えていただきたいところです。



さて具体的に、分かりやすい啓蒙手段としてスコアカードの表記事例をUSGAは提案しています。他にもティーの色区分やゴルフアーに判断基準を提示するなどの事例が紹介されています。是非ともUSGAの記事もご一読を。

こうした見える化を日本でも採用してほしいものです。JGAが旗を振り、各団体が提唱、推奨しない限りプレー環境の改善は望めません。ゴルフ振興のための楽しいゴルフの提案を期待します。

